

http://www.minamih.net/



11・6・11(土)
南NEWS NO17

合鴨を田んぼに放す会

高月町で合鴨の力を借りて無農薬・有機農法でお米・合鴨米を作り、無農薬の小麦等を作っている専業農家・澤井保人さんがいます。テレビや本に良く登場しています。その澤井さんが6月12日(日)明日13:30～高月町浄水場右側田園地帯の田んぼに合鴨を放す会を催します。691-1206澤井農場

澤井さんの奥さんは矢上の教え子1期生でちか江さんといいます。昭和52年3月に由井三小を卒業しています。総勢28人のクラスで毎年クラス会をしています。南の3期生、小坂和男君のお姉さんです。娘さんと米粉でケーキを作り、道の駅で販売しています。農家の奥さん達とプリンセスクラブを組織しリーダーとなり産直販売等でGAMBAっています。

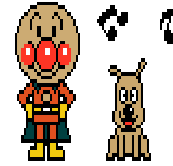
by 矢上

拓殖大学杯3年生の結果 2011.6.5(日) 拓大サッカー場南八王子サッカークラブ0-9大和田サッカークラブ 前半0-2

◎めあての達成

○チームのめあて

- 1) ボールを持っている敵には早くアプローチする。
- 2) 敵にぶつけないように、ゴールを目指してドリブルする。
- 3) ボールを取られたら取り返す。
- 4) ボールはけり合わない。



○達成度

ターンで敵をかわしたり、スペースへの早いドリブルなど、ゴールへ向かう姿勢が見られました。また、一人ひとりのディフェンスへの意識もだんだん高くなってきました。

しかし、アプローチが遅れてしまい、敵にボールを簡単に蹴らせてしまったり、ドリブルもまだ敵にぶつけてしまうことが多く、なかなかシュートまで持ち込めませんでした。

○コーチ所見 (記入者：能登コーチ)

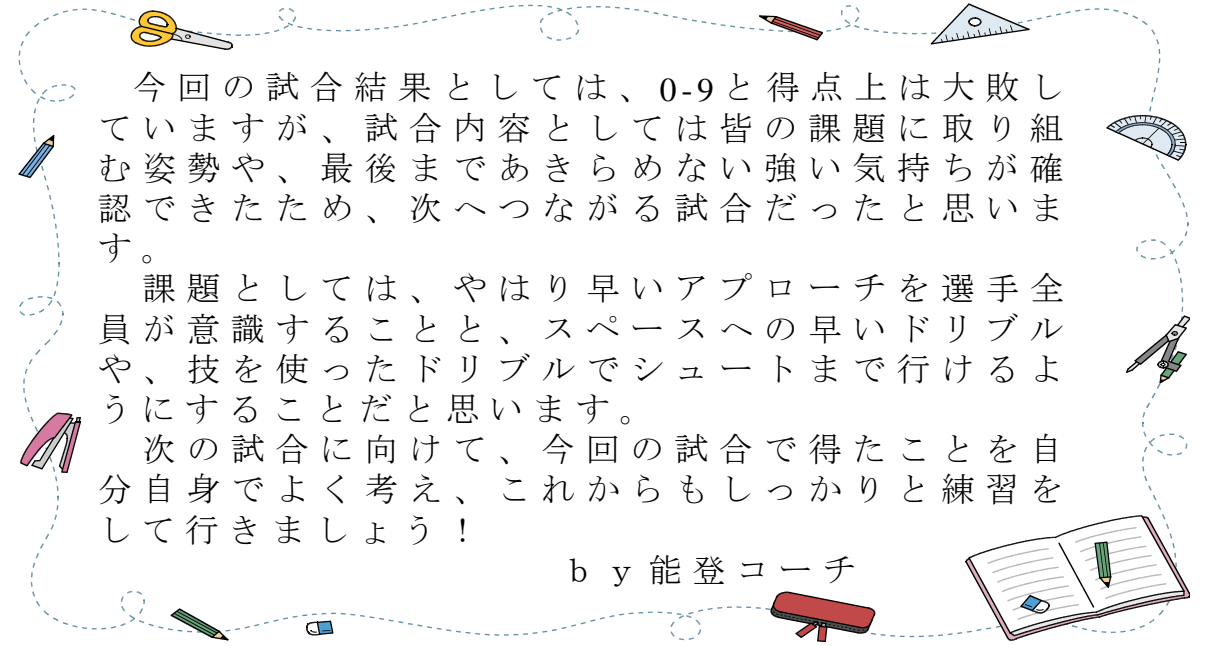
前半は立ち上がりから皆が集中し、敵への早いアプローチやスペースへのドリブル等、攻守ともに積極的な南のサッカーができていました。

このため、敵もなかなかチャンスができず、一進一退の状態が続いていました。しかし、前半10分にロングシート、13分にコーナキックのこぼれ球と失点。南の選手も果敢にドリブルで攻め上がりますが、シュートまで行けず前半終了。

後半に入ると、南のリズムがなかなか作れず、立て続けに敵にゴールを許してしまいます。しかし、選手たちは誰もあきらめてはいませんでした。

吉田くんの気持ちの入ったディフェンスや、岩田君の体を張ったシュートブロックから、後半の途中からだんだん南のサッカーに元気が出てきます。

選手全員がドリブルで攻め上がり、終了前には敵のゴール前に迫るシーンもありました。しかし、最後まで敵のゴールを奪うことができず、残念な結果となってしまいました。



今回の試合結果としては、0-9と得点上は大敗していますが、試合内容としては皆の課題に取り組む姿勢や、最後まであきらめない強い気持ちが確認できたため、次へつながる試合だったと思います。

課題としては、やはり早いアプローチを選手全員が意識することと、スペースへの早いドリブルや、技を使ったドリブルでシュートまで行けるようにすることだと思います。

次の試合に向けて、今回の試合で得たことを自分自身でよく考え、これからはしっかりと練習をして行きましょう！

by 能登コーチ

“時間と時こく”の双六を3年生以下の子ども達に配布しました。

3年生の算数では“時間と時こく”の学習が終わった頃だと思います。どうですか。お子さんは良く理解できていますでしょうか。

“時間と時こく”の学習でも、問題の文を読んでその内容を理解し、場面が浮かんでくるようにしないと式を立て答えを出すことがなかなかできないようです。読解力がもう少し、自分で時計を見て暮らしている等の経験が少ないというお子さんには難しい学習になってきます。

今回お配りした時間と時刻の双六を楽しみながら、2時間30分後、1時間10分前は午後何時何分、等という時間と時刻の感覚を育み、デジタル時計ではない長針・短針のあるアナログ時計を見て暮らすようにしていただくと簡単にクリアできる学習です。

学校に午前8時までに着くには家から20分かかるから、学校が始まる20分前の午前7時40分には家を出ようと自分で判断する暮らしをしたいですね。

練習や試合の行き帰り

交通ルールを守って交通事故に気をつける、自転車の点検・ヘルメットの着用等の厳守は勿論ですが、練習や試合が終わったらすぐにお家に帰るようにさせて下さい。午後練でも必ず終わったらすぐにお家に帰るように呼びかけています。いつまでの残って遊んでいてお子さんが怪我でもしたら大変です。何かあると、「子どもの管理ができないクラブ」等と言われかねません。

残っていた子ども達が由井三小の学級園を荒らしてしまったということがありました。その日コーチから矢上に連絡があり、月曜日に学校で謝罪させて下さいとお願いし、村上先生(南OB)を通じて謝罪し、午後練の水曜日に矢上は校長先生に直接お会いし謝罪をしました。

とても適切な説話・対処をして下さった校長先生に感謝をしました。子ども達はいろいろな失敗を繰り返しながら、行きつ戻りつしながら成長していくものです。

